

再評価項目調書

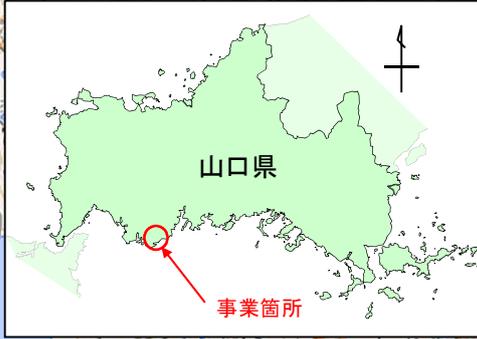
再評価実施要件		○ 事業採択後 () 年 ● 再評価後 (5 年) ○ その他 ()					
1 事業概要	事業名	えがしらがわ 江頭川 周防高潮対策事業					
	事業場所	にしまわ 宇部市西岐波 地内					
	事業主体	山口県					
	事業期間	《 前回評価 平成 29 年時 》 平成 15 年度 ~ 令和 9 年度 《 令和 9 年度 》 (西暦 2003 年度 ~ 西暦 2027 年度 《 西暦 2027 年度 》)					
	総事業費 (内用地補償費)	≪ 3,403 百万円 ≫ 3,403 百万円 (33 百万円)	既投資額 (内用地補償費)	1,648 百万円 (33 百万円)	進捗率 (用地補償費)	48 % (100 %)	
	事業目的	江頭川は、宇部市西岐波 ^{おかのつじ} 地区の丘陵部を源とし、宇部市南東部の新浦 ^{しんうら} 地先で瀬戸内海に注ぐ、流域面積2.1km ² 、流路延長1.15kmの二級河川である。 河口部付近には家屋が密集しており、平成11年9月の台風18号により高潮による浸水被害が発生している。 このため、同規模の台風に対応した高潮対策を実施し、防護ラインを構築することで、浸水被害の軽減を図る。					
	事業内容	防潮水門 1 門、排水機場 1 施設 計画堤防高 T.P.+6.20m 計画高潮位 H.H.W.L = T.P.+3.85m					
事業効果	平成11年台風18号が来襲した際の浸水被害防止効果 浸水戸数 31 戸 → 0 戸 浸水面積 6.5 ha → 0 ha						
2 再評価の視点	(1) 社会経済情勢の変化	社会経済情勢の変化に伴う必要性の変化	<p>前回評価時から人口は減少傾向であるものの、主要な交通網、公共施設や家屋等が立地しており、平成11年に甚大な高潮による浸水被害を受けていることから、再度災害の防止のため、引き続き高潮対策を進めていく必要がある。</p> <p>【状況変化(国勢調査)】 《西岐波地区》 ○人口 : 0.97倍 (14,299/14,734人) <R2/H27> ○世帯数 : 1.02倍 (5,628/ 5,534世帯) <R2/H27></p> <p>《参考:県全体》 ○人口 : 0.96倍 (1,342/1,405千人) <R2/H27> ○世帯数 : 1.00倍 (599/ 599千世帯) <R2/H27></p>			中項目評価	大項目評価
		関係市町及び地元の意向	<p>当該事業は、学識経験者、地元住民代表者、河川利用者の代表者、関係地方公共団体の長から構成される「沢波川・江頭川川づくり検討委員会」で了承されている。また、これまでの高潮による浸水被害の経験から、宇部市や地域住民からの被害軽減に対する要望は強い。</p>			中項目評価	

2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	<p style="text-align: right;">(単位：百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th colspan="3">今回(再評価・再々評価) (基準年：R4)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>前回 (基準年：H29)</th> <th>全体事業</th> <th>残事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">便益 (B)</td> <td>①一般資産被害軽減便益</td> <td>14,919</td> <td>20,736</td> <td>20,736</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②農作物被害軽減便益</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③公共土木施設等被害軽減便益</td> <td>11,116</td> <td>15,475</td> <td>15,475</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④その他の便益</td> <td>19</td> <td>1,435</td> <td>1,410</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td>26,054</td> <td>37,649</td> <td>37,624</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">費用 (C)</td> <td>①事業費</td> <td>3,384</td> <td>3,503</td> <td>1,468</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td>1,012</td> <td>1,012</td> <td>1,012</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>4,396</td> <td>4,515</td> <td>2,480</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比 (B/C)</td> <td>5.9</td> <td>8.3</td> <td>15.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 便益(B)・費用(C)は、算出した各年次の値を割引率を用いて現在価値に換算した合計額</p> <p>【費用対効果分析手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○根拠マニュアル <ul style="list-style-type: none"> ・海岸事業の費用便益分析指針 平成16年6月(令和2年4月 一部更新) ・治水経済調査マニュアル(案) 令和4年2月 ○各便益の説明 <ul style="list-style-type: none"> ①一般資産被害軽減便益 : 整備により軽減される家屋、事務所、農漁家の資産被害額 ②農作物被害軽減便益 : 整備により軽減される農作物被害額 ③公共土木施設等被害軽減便益 : 整備により軽減される公共土木施設等(道路、農地、農業用施設等)の被害額 ④その他の便益 : 営業停止損失、応急対策費用、施設の残存価値 	区分	主な項目	今回(再評価・再々評価) (基準年：R4)			備考	前回 (基準年：H29)	全体事業	残事業	便益 (B)	①一般資産被害軽減便益	14,919	20,736	20,736		②農作物被害軽減便益	0	3	3		③公共土木施設等被害軽減便益	11,116	15,475	15,475		④その他の便益	19	1,435	1,410		総便益	26,054	37,649	37,624		費用 (C)	①事業費	3,384	3,503	1,468		②維持管理費	1,012	1,012	1,012		③その他	0	0	0		総費用	4,396	4,515	2,480		費用便益比 (B/C)		5.9	8.3	15.2		大項目 評価 <input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C
	区分	主な項目			今回(再評価・再々評価) (基準年：R4)				備考																																																								
			前回 (基準年：H29)	全体事業	残事業																																																												
	便益 (B)	①一般資産被害軽減便益	14,919	20,736	20,736																																																												
②農作物被害軽減便益		0	3	3																																																													
③公共土木施設等被害軽減便益		11,116	15,475	15,475																																																													
④その他の便益		19	1,435	1,410																																																													
総便益		26,054	37,649	37,624																																																													
費用 (C)	①事業費	3,384	3,503	1,468																																																													
	②維持管理費	1,012	1,012	1,012																																																													
	③その他	0	0	0																																																													
	総費用	4,396	4,515	2,480																																																													
費用便益比 (B/C)		5.9	8.3	15.2																																																													
(3) 事業の進捗	事業の進捗と今後の見通し	<p>用地買収は完了し、防潮水門や排水機場の工事を進めているところである。 今後も計画的な事業進捗が見込まれることから、引き続き、防潮水門や排水機場の工事を実施し、高潮被害の軽減を図る。</p>	大項目 評価 <input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C																																																														
		<p>【事業費の変化】 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/></p> <p>【事業期間の変化】 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/></p>																																																															
(4) コスト案等の縮減の可能性	コスト縮減	発生土砂の処分については、周辺の公共事業と調整し、可能な限り流用することによりコスト縮減を図る。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>中項目 評価</th> <th>大項目 評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">a b</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	中項目 評価	大項目 評価	a b	A																																																										
	中項目 評価	大項目 評価																																																															
a b	A																																																																
代替案	代替案として「河川の護岸嵩上げによる防潮堤の整備案」が考えられるが、経済性等の観点から現計画の「防潮水門と排水機場の整備案」は妥当である。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>中項目 評価</th> <th>大項目 評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">a b</td> <td style="text-align: center;">B ・ C</td> </tr> </table>	中項目 評価	大項目 評価	a b	B ・ C																																																											
中項目 評価	大項目 評価																																																																
a b	B ・ C																																																																
3 環境	配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・汚濁防止対策として、工事に際しては、汚濁防止膜を設置する。 ・低騒音・低振動の建設機械を使用する。 																																																															
4 対応方針 (事業実施主体)	総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 見直し継続 <input type="radio"/> 中止																																																															
	評価理由	事業の必要性、費用対効果等を勘案し、事業継続が妥当と判断する。																																																															
	備考																																																																

宇部市

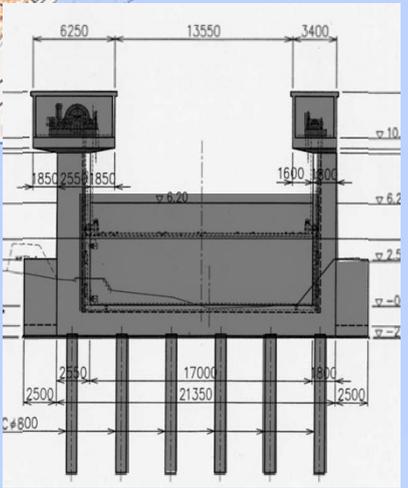
えがしらがわ
江頭川

周防高潮対策事業



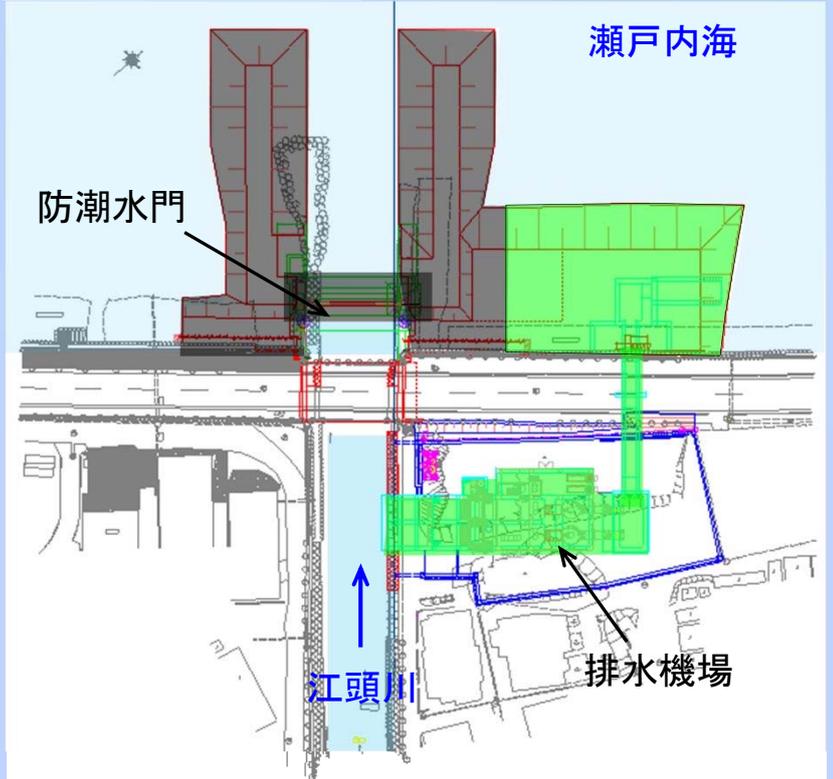
凡例

- 施工済区間
- 未施工区間



防潮水門 1門
排水機場 1施設

施設配置イメージ図



過去の被災状況 (H11.9) 江頭川下流

